三陽機器

グリーンフレーカ「GF115」完成

自走式樹木破砕機

軽量コンパクト、本格チッパー並み作業

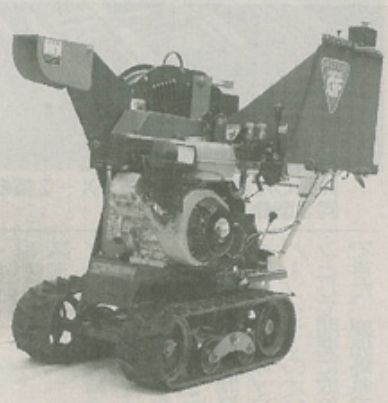
三陽機器㈱＝岡山県浅口郡里庄町新庄3858・☎0865（64）2871・寺前公平社長＝は樹木破砕機『グリーンフレーカGF-115』を完成した。多くのユーザーから寄せられた軽量コンパクトで本格チッパー並の破砕作業ができる自走式樹木破砕機の要望を商品化したもので、11月に発売する。

寺前社長

9・9キロワット（13・5馬力）の空冷4サイクルガソリンエンジンを搭載したクローラタイプで、最大破砕径は115ミリメートルとクラス最大。

新開発の油圧感知による破砕物送りローラー自動停止機能（特許申請中）を採用。エンジンに過負荷がかかってエンジン回転数が低下すると送りローラーが自動停止し、エンジンの回転数が回復すると自動再開するので、安全で効率的な作業を実現した。

また、破砕物の排出は新機構の空気搬送式強制排出になっており、枝葉や水分の多い剪定枝も詰まることなく排出できる。高い位置からの強制排出により、破砕物のトラックへの積み込みや山積みが可能。更にメンテナンスカバーを外せば、チッパー刃の点検・交換が簡単に行える。



グリーンフレーカGF115

質量が300キログラムと軽量コンパクトなので、軽四トラックに搭載して移動できる機動性、そして本格的チッパー並の破砕作業が可能なことから、同社では果樹園、造園業、シルバー人材センターや公共施設管理会社はもとより、農業試験場や農業学校、市町村役場などへの市場開拓を積極的に展開し拡販を目指す方針。

同社は、木質系廃棄物の有効活用に貢献できる環境機器として、樹木破砕機『グリーンフレーカ』のシリーズ化を積極的に進めており、10月30～31日に兵庫県加西市で開催される2005年森林・林業・環境機械展示実演会に出展する。

『GF115』の特徴と仕様は次の通り。

【特徴】①最大破砕径は115ミリメートルでクラス最大②軽量コンパクトながら、本格チッパー並の破砕作業を実現③新開発の油圧感知による破砕物送りローラー自動停止機能搭載（特許申請中）④耐久性に優れた特殊チッパー刃・チッパー受け刃を採用⑤破砕部は簡単メンテナンス⑥芯金なしのクローラと可動転輪で安定した走行を実現⑦デッドマンクラッチ方式を採用し、走行安全性を確保⑧破砕物の排出は空気搬送の強制排出⑨低重心バランス設計でトラックへの積み降ろしも楽々。

【仕様】▽型式＝GF115▽本体質量＝300キログラム▽外形寸法＝長さ1725×幅870×高さ1200ミリメートル（ホッパーテーブルを開いた状態では幅1285ミリメートル）▽エンジン＝9・9キロワット（13・5馬力）空冷4サイクルガソリン▽破砕装置駆動方式＝ベルトテンションクラッチ▽破砕刃＝チッパー刃2枚▽ホッパ口径＝460×400ミリメートル▽最大処理径＝115ミリメートル▽送り速度＝11メートル／分▽シュータ出口高さ＝1120ミリメートル▽排出角度＝可変式▽排出方式＝空気搬送式▽操向方式＝サイドクラッチ（爪）▽クローラ幅＝170ミリメートル▽接地長＝650ミリメートル▽変速段数＝前進2速、後進2速▽走行速度＝前進3・0、後進2・2キロメートル／時▽走行形式＝芯金なしゴムクローラ。

小売価格＝119万7千円（税込）